

\\ 10分でわかる！ //

2024年3月IAASBボード会議



【説明者】

吉村 和子 (IAASBテクニカル・
アドバイザー)

井坂 久仁子 (当協会研究員)

IAASBのスケジュール（2023年～2025年）

プロジェクト名	2023年				2024年				2025年			
	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月
継続企業（ISA 570）	ED	→			★	→		承認	PIOB			
サステナビリティ保証（ISSA 5000）		ED	→		★	→		承認	PIOB			
テクノロジー・ポジション					情報収集	→		確定※1				
監査証拠（ISA 500）	→			★								
統合プロジェクトーリスク対応				→	情報収集	→		PP	→		ED	→
不正（ISA 240）				ED	→			承認	PIOB			
上場企業及び PIE（社会的影響度の高い事業体）	トラック1	承認	PIOB									
	トラック2			ED	→			承認	PIOB			

PP: プロジェクト・プロポーザルの承認予定 ED: IAASBボードでの公開草案の承認予定 承認: IAASBボードでの最終承認予定
 PIOB: 公益監視委員会（PIOB）による最終承認予定 ※1: テクノロジーに関する見解（ポジション）を2024年中に確定予定

サステナビリティ保証

プロジェクトの概要

- サステナビリティ報告の**包括的な保証基準**（国際サステナビリティ保証基準（ISSA） 5000「サステナビリティ保証業務の一般的要求事項」）を開発するプロジェクト

2024年3月ボード会議の審議概要

公開草案に対するコメントの中から、以下を含めた重要な論点について検討

1. ISSA 5000の適用範囲
2. サステナビリティ事項、サステナビリティ情報等の定義の明確化
3. IESBA倫理規程及び品質マネジメント基準
4. マテリアリティ
5. 他の業務実施者（another practitioner）
6. グループ
7. 限定的保証と合理的保証
8. 財務諸表の監査人とサステナビリティ保証業務実施者間のコミュニケーション

タイムライン

2021年12月：情報収集、第1回目のボード審議

2022年3月：ボード審議

2022年6月：ボード審議

2022年9月：プロジェクト・プロポーザル承認

2022年12月：ボード審議

2023年3月：ボード審議

2023年4月：ボード審議（ウェブ会議）

2023年6月

公開草案承認

公開草案の公表：2023年8月2日
コメント期限：2023年12月1日



2024年3月：ボード審議

2024年9月

最終基準IAASB承認予定



テクノロジー・ポジション

プロジェクトの概要

- 「2024年から2027年の戦略及び作業計画」において、テクノロジーによる影響についてIAASBの基準でどのように対処していくのかに関するIAASBの全体方針（テクノロジー・ポジション）を設定するためのプロジェクトの2024年上期開始が明示されたことによる。

2024年3月ボード会議の審議概要

テクノロジー・ポジションの主要な構成要素として以下の3つが示され、1及び2について議論された。

1. IAASBのテクノロジーに対する姿勢（Posture）の明確化

〈現在の姿勢〉

ISAの開発又は改訂に際し、監査におけるテクノロジーの利用を**要求するのではなく、ガイダンスやISAの適用指針を用いて、認識及び支援（acknowledge and support）**することである。

- テクノロジーに対する姿勢を運用するためのアプローチ
- テクノロジーに対する姿勢の適切性を継続し確保するためのプロセス

タイムライン



2024年3月：情報収集



2024年6月：ボード審議



2024年12月まで

テクノロジー・ポジションの確定予定



監査証拠

プロジェクトの概要

- 主に次の目的からISA 500「監査証拠」改訂の検討を開始
 - ISA 500の目的及び他のISAsとの関係の明確化
 - 入手可能な情報及び情報源の多様化を反映
 - 企業と監査人によるテクノロジーの利用を認識
 - 「十分かつ適切な監査証拠」の概念の明確化
 - 職業的懐疑心の強調

2024年3月ボード会議の審議概要

- 2023年9月から2024年3月までの検討事項は、ISA 500（改訂）最終化前保留パッケージとして休止することを暫定決定
- ED-500へのコメント対応（2023年9月、12月からの継続検討）
 - 監査証拠として利用することを意図した情報（5-A、第9項）に関する記述において、「適合性及び信頼性の属性の考慮」を監査人に要求することの明確化
 - 上記、第9項と信頼性の属性が重要である場合の対応について述べた第10項との関連性の強化
 - 正確性と網羅性の属性がリスク評価手続において常に重要とは限らない点の明確化

タイムライン

2020年12月：プロジェクト・プロポーザル承認

2021年3月：ボード審議

2021年7月：ボード審議

2022年3月：ボード審議

2022年6月：ボード審議

2022年9月

公開草案承認

公開草案の公表：2022年10月24日

コメント期限：2023年4月24日

2023年9月：ボード審議

2023年12月：ボード審議

★ 2024年3月：ボード審議

監査証拠+リスク対応
→「統合プロジェクト」
として取り組む

統合プロジェクトーリスク対応

プロジェクトの概要

- ISA 500「監査証拠」改訂公開草案に対するコメント等を踏まえ「2024年から2027年の戦略及び作業計画」において、監査証拠及びリスク対応に関する統合プロジェクトの開始が明示された。
- リスク対応ワークストリームでは、ISA 330「評価したリスクに対応する監査人の手続」における評価した重要な虚偽表示リスクに応じたリスク対応手続の立案と実施に関連するの側面について検討する。

2024年3月ボード会議の審議概要

▶ ISA 330 関連論点

- ISA 330とISA 315（2019年改訂）「重要な虚偽表示リスクの識別と評価」との連携
- ISA 500（改訂）案との連携
- 評価した重要な虚偽表示リスクへの対応におけるテクノロジーの使用
- 内部統制に関する監査人の作業（work effort）の強化

タイムライン



2024年3月：情報収集



2024年12月：プロジェクト・プロポーザル承認

2025年9月

公開草案承認目標

2026年12月

最終基準IAASB承認目標

▶ ISA 520「分析的手続」関連論点

- 基準の範囲と明瞭性
- 監査手続の実施におけるテクノロジーの役割の高まり

監査、監査以外の保証業務及びAUPに関する取組



[ホーム](#) > [協会について](#) > [協会の活動](#) > [監査、監査以外の保証業務及びAUPに関する取組](#)

監査

監査以外の保証業務及びAUP

国際監査・保証基準

解説動画等

ワークプラン及び適用スケジュール

公開草案等へのコメント

サステナビリティ保証



[ホーム](#) > [協会について](#) > [協会の活動](#) > [監査、監査以外の保証業務及びAUPに関する取組](#) > [サステナビリティ保証](#)

- ▼ 1. 公表情報
- ▼ 2. Sustainability Assurance Insights
- ▼ 3. 資料集
- ▼ 4. 適用時期
- ▼ 5. サステナビリティ情報に対する開示

国内外のサステナビリティ保証に関する情報を紹介！

[国際サステナビリティ保証基準 \(ISSA\) 5000公開草案](#)の情報も
こちら！

<トピックス> 国際サステナビリティ保証 (ISSA) 5000公開草案

- > 公開草案「国際サステナビリティ保証基準5000「サステナビリティ保証業務の一般的要求事項」」の翻訳
- > IAASB Webinar Assurance on Sustainability Reportingの日本語吹き替え版
- > 【解説記事】国際監査・保証基準審議会 (IAASB) 公開草案 国際サステナビリティ保証基準 (ISSA) 5000「サステナビリティ保証業務の一般的要求事項」
甲斐幸子 (IAASBボードメンバー／日本公認会計士協会研究員) ※本記事はCPD単位付与対象です。

※ ISSA 5000公開草案の原文、ウェビナー等の周知活動の詳細は、[IAASBウェブサイト](#)をご参照ください。

●● 信頼の力を未来へ
jicpa

 日本公認会計士協会